

RISMON REPORT

リスモン通信



証券コード：3768

2023年3月期 2022年4月1日～2023年3月31日

リスモンを応援してくださる
株主のみなさまへ

与信管理は、企業経営や事業における
不可欠なプロセスであり、
社会的意義の高い
サービスです。

詳細は
リスモン
Focus!へ

➡ P.3



企業理念「顧客を大切にしてお共に繁栄しよう」を 念頭に、新たなステージを歩みだしています。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は、10年以上に渡り、与信管理に必要な独自データベースを収集、メンテナンスを行い、RM格付の精度を向上させてまいりました。2020年12月より当社の独自データベースをマスターデータとした与信管理サービスをスタートさせ、2022年2月の全面的サービスリニューアルを経て、500万社を超える当社保有の企業情報を提供しております。

2023年3月期においては、独自データベース拡充への投資の他、「反社APIサービス」などのDX(デジタルトランスフォーメーション)化支援サービスの提供開始、また新たにクラウドサービスセキュリティ国際規格「ISO/IEC27017:2015」を取得するなどセキュリティ体制の強化などを実施してまいりました。

今後も、企業理念「顧客を大切にしてお共に繁栄しよう」「プロフェッショナリズムを繁栄の源泉にしよう」を念頭に、独自データベースのさらなる拡充、ならびにAIを積極的に活用したDXへの取組を充実させ、新しいスタンダードを提供してまいります。

2024年3月期は第7次中期経営計画の最終年度にあたります。新型コロナウイルスの感染拡大の沈静化が見られ、景気の緩やかな持ち直しがみられるものの、依然として先行きは不透明な状況が続いております。その状況でこそ、当社の核である

与信管理が企業経営にとって重要なプロセスとなり、当社サービスが会員様の成長のお役に立てるものと信じております。

引き続き、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長

藤本 太一



藤本代表取締役社長

堀社外取締役

田邊社外取締役

太田社外取締役

鈴木社外取締役

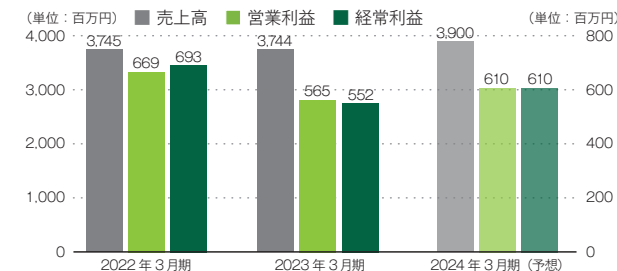
奥村社外取締役

2023年3月期の業績

与信管理サービス事業及び教育関連事業が売上を押し下げたものの、BPOサービス事業、その他サービスが好調であったこと等から、連結の売上高は3,744百万円(前期比100.0%)となりました。また、サービスシステム増強やセキュリティ強化のための投資の実施、サービス提供強化のための人件費及びマーケティング費等の増加、与信管理サービス事業及び教育関連事業の売上高減少等により、営業利益は565百万円(同84.4%)、経常利益は552百万円(同79.7%)、親会社株主に帰属する当期純利益は360百万円(同78.5%)となりました。

今後の見通し

2023年3月期の与信管理サービス事業は、株式会社東京商工リサーチとの業務提携解消を理由として前期に比べ退会数が増加したものの、新規入会数は予定通り増加



いたしました。業務提携解消により、独自データベースの活用や新サービス開発において自由度が高まり、新たな挑戦ができる事業環境となったため、今後もサービスリニューアルや独自データベース拡充・増強への投資を積極的に行ってまいります。また、わかりやすい指標とスピーディーな審査結果の保証サービスの展開など新サービスの提供も行ってまいります。

ビジネスポータルサイト事業は、2023年3月期末にグループウェアサービスのバージョンアップが完了し、引き続き既存顧客の利用料の増加のための施策などを実行してまいります。また、教育関連事業の定額制の研修サービス「サイバックスUniv.」の利用は順調に増加しております。BPO事業も、引き続きグループのコスト削減に貢献してまいります。

これらを踏まえ、2024年3月期の業績見通しといたしましては、売上高3,900百万円(2023年3月期比104.1%)、営業利益610百万円(同107.9%)、経常利益610百万円(同110.4%)、親会社株主に帰属する当期純利益390百万円(同108.2%)と予想しております。

リスモンFocus! 社会的意義の高い「与信管理事業」

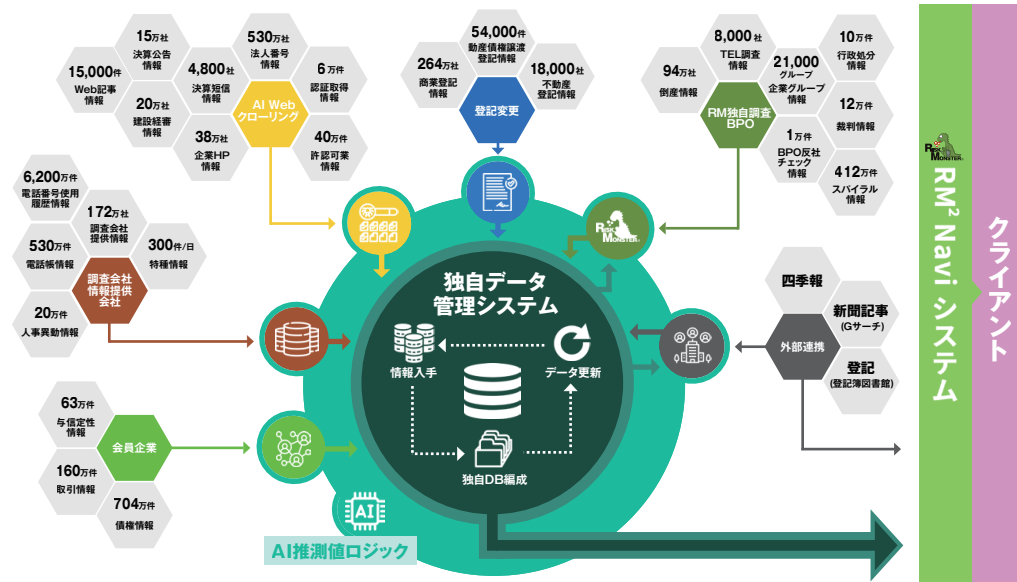
ビジネスに欠かせない与信管理

法人間における取引で最も安全な取引は現金取引ですが、取引が頻繁かつ継続的に発生するとその都度現金を受け取るのは非効率であるため、取引先に信用を供与し、商品納品後、またはサービス提供後に代金を受領する「与信取引」を行うことが一般的です。与信取引を行うと、代金をきちんと回収できないかもしれないという「不確実性(リスク)」を常に伴うこととなります。それゆえ、そのリスクを継続的に管理する必要があります。すなわち、それが「与信管理」です。

リスモンの与信管理サービスとは

リスモンの与信管理サービスは、500万社超の企業データベースと独自の審査ノウハウ、インターネットの活用による圧倒的なスピードと低コストを武器に実績を増やしており、2023年3月末現在7,240の会員様にご利用いただいております。そのうち、上場企業およびその関連企業で約40%の導入実績を誇り、また上場を目指す企業様においてもリスク管理の体制構築のために積極的に導入されています。

リスモンの保有データについて

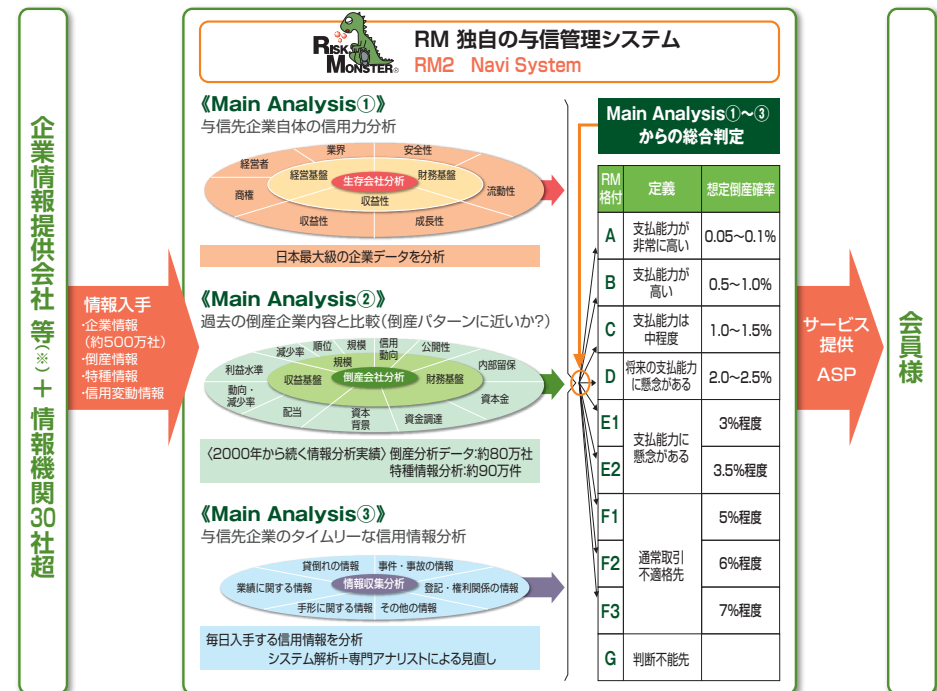


RM格付とは

リスモンの与信管理サービスの特徴の1つに高い精度を誇る「RM格付」があります。「RM格付」とは約80万社の倒産実績に裏付けられた倒産判別に特化した格付で、会員様の与信管理業務の精度を高めております。2000年12月のサービス開始以来、500万社超にのぼる膨大な企業群を対象に格付し、統計的に倒産確率を算出・公表している実績のある指標で、企業をA、B、C、D、E、Fの6段階(※細分化を含めると9段階)に格付しております。

「RM格付」は倒産実績に裏付けられた独自の与信管理指標で、A格の企業は倒産確率が低い、つまり倒産しにくい企業、逆にF格の企業は倒産確率が高い、つまり倒産しやすい企業といえます。

リスモンのRM格付のフロー



※ 信用調査会社や登記情報などの公知情報

※ 「判定不能企業」はG格としています。(具体的には1.新設企業、2.情報開示を拒否した企業、3.前回調査が非常に古い企業、4.格付判断できない業種の企業、5.預金等業務を伴う金融機関等)

リスモンのSDGs —— 豊かな社会の実現と発展に寄与

企業理念

顧客を大切に共に繁栄しよう。
プロフェッショナリズムを繁栄の源泉にしよう。

◆ 長期ビジョン: RismonG-30 / 新しいスタンダードを提供する

◆ 第7次中期経営計画(2021～2023年度)

◆ リスクモンスターグループの取組とSDGs



事業内容で貢献するSDGs目標

4 質の高い教育をみんなに	・社員研修e-ラーニング及びwebセミナーを提供 ・インターンシップの開催
8 働きがいも経済成長も	・与信管理サービスの提供 ・BPOサービスの提供 ・J-mottoクラウドシステムの提供
9 産業と技術革新の基盤をつくろう	・海外での雇用拡大 ・外国人の研修受け入れ及び社員登用
12 つくる責任 つかう責任	・サービス品質向上のための認証取得 ・安定したサービスを提供するための施策 ・債権保証サービスの提供
16 平和と公正	・反社チェックサービスの提供 ・企業統制を健全に維持するための仕組みを整備

社内体制で貢献するSDGs目標

3 健康と福祉	・従業員の健康・安全の保護 ・コロナ対策
5 ジェンダー平等を推進しよう	・テレワーク、フレックス制度の導入 ・多様な人員の継続雇用のための政策
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	・自社保有機器をパブリッククラウドへ移行 ・リサイクル&リユース(RR)活動
11 住み続けられるまちづくりを	・支援活動、地域貢献
15 陸の豊かさも守ろう	・リスモン・グリーンプロジェクト

リスクモンスター
グループの
企業価値の向上と
持続的成長

リスモンのSDGs Pick Up!

反社チェックサービスの提供

リスモンでは、反社チェックサービスを提供することで、会員様の社内の反社チェックを最小限の工数で可能とします。反社会的勢力との取引や利益供与を防止することで、正常かつ信用力の高い企業活動を行うことが出来、お客様の企業価値の向上に繋がります。また、健全な日本経済の維持と更なる発展にも貢献いたします。

支援活動、地域貢献

東日本大震災復興支援活動の一環として、東北地方の学生の採用や公益社団法人ハタチ基金への寄付*などを行っています。また、本社がある東京・日本橋地域の清掃活動への参加など地域貢献活動にも参加しております。

*一般財団法人リスモン財団を通じて寄付しております。ハタチ基金とは、東日本大震災の被災地の子もたちに寄り添い、20年間継続的に支援を行う基金です。

グループシナジーで更なる発展

与信管理サービス事業

教育関連事業

BPOサービス事業
および海外事業

ビジネスポータルサイト事業

執行役員 営業本部
法人サービス営業第一部
部長
佐々木 正人

ビジネスポータル事業部
部長代理
沢田 桂

執行役員 営業本部 本部長
兼法人サービス営業第二部
部長
小澤 秀孝

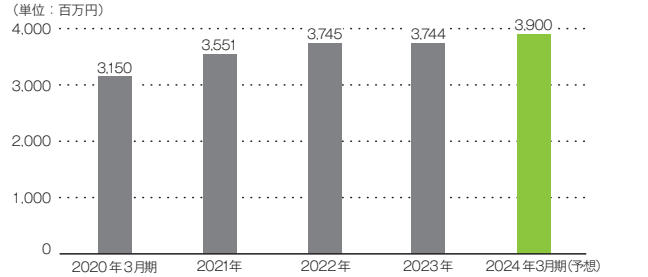
利墨(上海)商務信息咨询
有限公司總經理
財津 隆宗

BPO事業本部 副本部長
兼株式会社シッパス
代表取締役社長
三木 真志

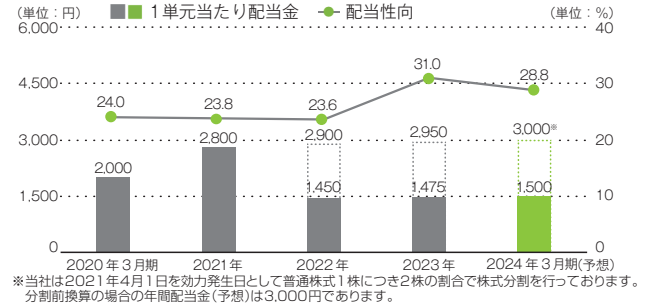
執行役員 BPO事業本部 本部長
兼リスモン・マッスル・データ
株式会社 代表取締役社長
兼日本アウトソース株式会社
代表取締役社長
奥山 昌幸

事業	事業内容	売上高構成比	2023年3月期業績	■売上高 ■■セグメント利益 ●●●会員数												
与信管理サービス事業  リスクモンスター株式会社	与信管理サービス事業は、「あなたの会社のe-審査部」を標榜し、独自に開発したシステム及び審査ロジックにより、インターネット経由で即時に審査結果を提供する与信管理アウトソーシング事業を展開しています。	50%	ASP・クラウドサービスは退会数の増加、一部のサービスの終了、サービスリニューアルに伴うキャンペーン割引の提供、またコンサルティングサービスはBPOを活用したサービスが順調だったものの、ASP・クラウドサービスの利用への移行、前期にスポット受注があったことなどをそれぞれ主因として、売上高は減少、セグメント利益もセキュリティ強化への投資などを背景に減少しました。	(単位：百万円) (単位：ID) <table><tr><th>2021年3月期</th><th>2022年3月期</th><th>2023年3月期</th></tr><tr><td>2,205</td><td>2,291</td><td>2,102</td></tr><tr><td>393</td><td>427</td><td>381</td></tr><tr><td>6,798</td><td>7,199</td><td>7,240</td></tr></table>	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2,205	2,291	2,102	393	427	381	6,798	7,199	7,240
2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期														
2,205	2,291	2,102														
393	427	381														
6,798	7,199	7,240														
ビジネスポータルサイト事業  リスモン・ビジネス・ポータル株式会社	ビジネスポータルサイト事業では、「もっと安く」「もっと気軽に」「もっと簡単に」をモットーに約14万人のビジネスパーソンが毎日利用するインフラサービスを提供しています。多機能グループウェアのASP・クラウドサービスでリーズナブルな価格が特徴です。	15%	大容量プランへ移行した会員の利用料が積み上がったものの、ユーザー数の減少に伴う超過料の減少により、売上高もセグメント利益もほぼ前年並みとなりました。	(単位：百万円) (単位：ID) <table><tr><th>2021年3月期</th><th>2022年3月期</th><th>2023年3月期</th></tr><tr><td>555</td><td>607</td><td>614</td></tr><tr><td>155</td><td>239</td><td>241</td></tr><tr><td>3,185</td><td>3,154</td><td>3,115</td></tr></table>	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	555	607	614	155	239	241	3,185	3,154	3,115
2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期														
555	607	614														
155	239	241														
3,185	3,154	3,115														
教育関連事業  リスクモンスター株式会社	教育関連事業では、ビジネス関連のeラーニングを主業務とした人材開発・育成支援サービスを提供しています。「企業の未来は人材が創る、伸びる人材が企業を創る」という想いをコンセプトに、人的資源を最大限に活かし、競争優位性を実現できるサービスを提供しています。	6%	代理店のサービス提供終了及び会員数の減少、サイバックスUniv. システム連携用サーバーの個人情報漏えいに係る対応のための営業活動の抑制等から売上高は減少、セグメント利益もサービス充実のための原価の増加や上記個人情報漏えいに係る対応コストの発生により減少しました。	(単位：百万円) (単位：ID) <table><tr><th>2021年3月期</th><th>2022年3月期</th><th>2023年3月期</th></tr><tr><td>277</td><td>253</td><td>240</td></tr><tr><td>88</td><td>63</td><td>44</td></tr><tr><td>3,171</td><td>3,316</td><td>3,022</td></tr></table>	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	277	253	240	88	63	44	3,171	3,316	3,022
2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期														
277	253	240														
88	63	44														
3,171	3,316	3,022														
BPOサービス事業 および海外事業  リスモン・マッスル・データ株式会社  日本アウトソース株式会社  株式会社シップス  利墨(上海)商務信息諮詢有限公司	BPOサービス事業は、アウトソーシング事業を展開し、グループの間接業務の効率化とグループの海外・新規事業拡大への基盤構築を担っています。 海外事業は、「利墨(上海)商務信息諮詢有限公司」を中心に、当社の核である与信管理事業に加え、グループウェアや教育事業にも注力します。	29%	BPO： 株式会社シップスの貢献、また与信管理サービス事業の独自データベース増強などグループのコスト削減に貢献するサービスが増加し、売上高は大幅に増加したもののセグメント利益はサービス提供費用の増加などから減少しました。 海外： 中国での与信管理サービスの利用の増加およびコンサルティングサービスの受注、また、グループのコスト削減を担うオフショア開発の順調な推移と円安の影響により、売上高は大幅に増加しセグメント利益も増加しました。	(単位：百万円) <table><tr><th>2021年3月期</th><th>2022年3月期</th><th>2023年3月期</th></tr><tr><td>766</td><td>866</td><td>1,199</td></tr><tr><td>97</td><td>61</td><td>64</td></tr></table>	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	766	866	1,199	97	61	64			
2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期														
766	866	1,199														
97	61	64														

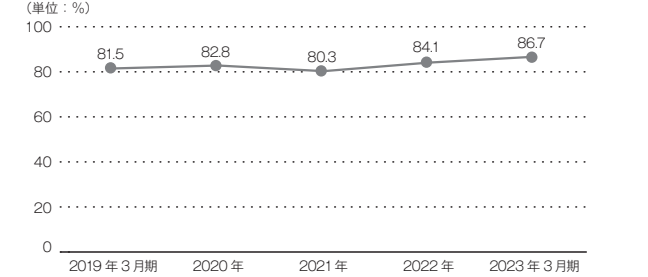
売上高



1 単元当たり配当金／配当性向



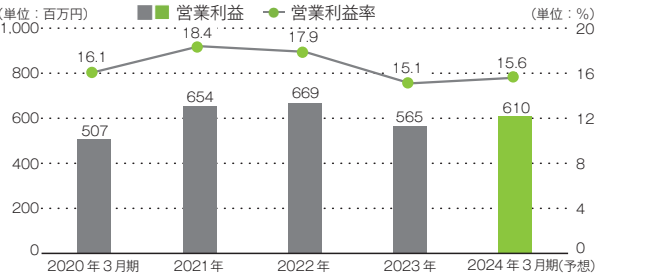
自己資本比率



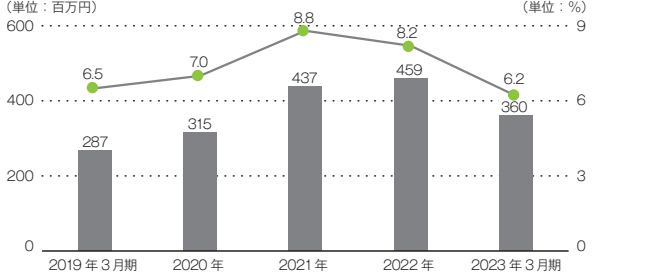
会員数



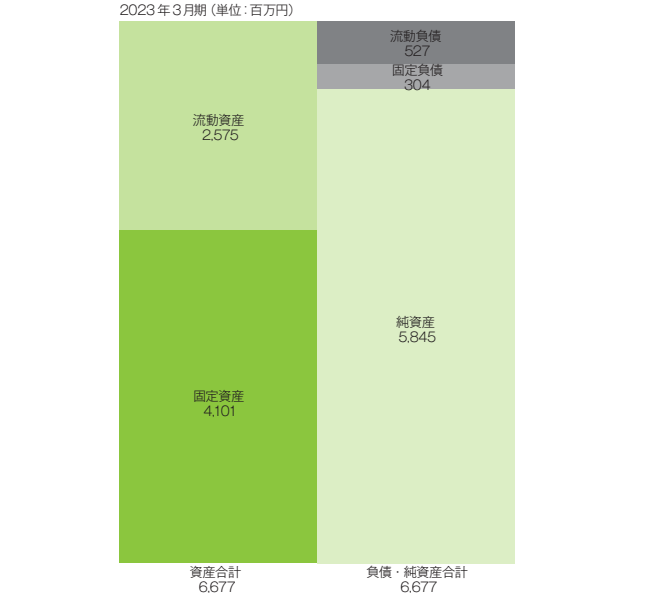
営業利益／営業利益率



親会社株主に帰属する当期純利益／ROE



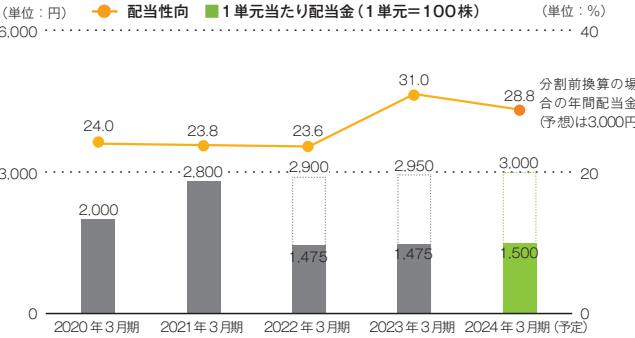
貸借対照表



株主還元

2023年3月期には、1株当たり14.75円の配当を実施し、初配当以来今回で12期連続増配となりました。2024年3月期は15.00円の配当を予定しております。なお、当社は2021年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。引き続き、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つとして位置付け、2021年4月にスタートした長期ビジョン「Rismon G-30」及び「第7次中期経営計画(2021～2023年度)」に沿い、積極的な投資を推進しながらも配当性向30%を目標とし、継続的かつ安定的な配当の実施を目指してまいります。

配当実績



情報提供活動

当社では、動画「リスモンちゃんねる」において、IR情報動画をはじめ、当社やサービスのご紹介、「与信管理」「信用」にまつわる動画など、多様なコンテンツを配信しております。また、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、株主総会後に実施してございました事業説明会は本年も中止とさせていただきます。「リスモンちゃんねる」にて配信予定のIR情報動画をご覧ください。



株主優待

株主の皆様へ日頃の感謝をお伝えし、株式を長期保有していただくため、商品選択式の株主優待制度を実施しております。2023年3月期は日本各地の名産品や防災用品、当社オリジナルグッズに加え、新たに社会貢献型QUOカードをラインナップいたしました。

保有期間 所有株式数	6か月以上 1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上
300株以上	当社指定商品			
600株以上		1,500円相当	2,000円相当	2,000円相当
1,000株以上	当社指定商品	2,000円相当	3,000円相当	4,000円相当
2,000株以上		3,000円相当	4,000円相当	5,000円相当

新型コロナウイルス感染防止のため、株主総会当日の 流行状況やご自身の体調をご確認の上、ご来場のご検討 をいただきますようお願いいたします。

第23回定時株主総会 開催概要

日 時：2023年6月27日（火） 10:00

場 所：東京都中央区日本橋一丁目3番13号

東京建物日本橋ビル2階

コングレスクエア日本橋 コンベンションホールAB

株主総会の様子をライブ配信いたします。

● ご注意

- 株主様限定となります。
- 本総会のライブ配信は視聴のみとなっており、出席とは取り扱われませんので、当日の議決権行使や質問を行うことはできません。事前に議決権行使および事前質問の登録をお願いいたします。

事前質問の受付について

株主様のご質問を事前に受付いたします。ご質問は本株主総会の目的事項に関わる内容に限らせていただきます。また、ご回答をお約束するものではありません。

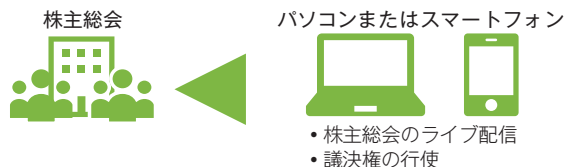
ご来場の事前参加申込について

当日の新型コロナウイルス感染防止を講じるため、ご来場を希望される場合には必ず事前参加申込をお願いいたします。総会会場内は感染拡大防止の観点から、通常よりも座席数を減らしております。また、感染拡大状況等により事前にお申込をされていても、やむを得ず入場制限を実施する場合がございます。なお、当日ご来場の株主様へのお土産のご用意はございません。何卒ご理解くださいますようお願い申し上げます。



議決権行使がWEBから行えます。

- 行使方法：議決権行使書または招集通知記載のご案内をご覧ください。
- ご注意
 - 行使期限は6月26日（月）18:00までです。
 - 書面による議決権行使と重複した場合には、WEBでの行使内容を優先させていただきます。



株主総会ライブ配信・事前質問・ご来場の事前参加 申込は、以下のサイトからログインしてください。



株主総会オンラインサイト「Engagement Portal」
<https://engagement-portal.tr.mufg.jp/>

ログイン方法等の詳細は、招集通知記載のご案内をご覧ください。
なお、ログインID、パスワードは議決権行使書裏面に記載しております。

ご利用可能期間

株主総会ライブ配信

6月27日（火）10:00～株主総会終了時まで

事前質問

ご案内がお手元に届いたとき～6月20日（火）18:00まで

事前参加申込

ご案内がお手元に届いたとき～6月22日（木）18:00まで